

京都市上下水道事業 経営評価

概要版

平成 25 年度事業

上下水道局マスコット
キャラクター



ホテルのひかりちゃん

料金はどんなことに
使われているのかしら？

上下水道局マスコット
キャラクター



すみと
ホテルの澄都くん

平成25年度事業の評価結果は
どうなっているのかな？

京都市上下水道局 水道使用水量のお知らせ

お客様番号 999 検針区 12345 水栓番号 67890

下水区分 区域内 汚水区分 水道のみ 戸数 1 呼び径 20 mm 検針番号 100160

京都 一郎 様 用途 一般 支払方法 口座振替

表示の金額には、消費税及び地方消費税相当額を含みます。

26 年度 3 期ご使用分 (6 月 3 日 ~ 8 月 1 日)

今回指示数 652 m³

前回指示数 620 m³

取替前メーター使用量 m³ (月 日)

井戸汚水等排出量 m³

今回ご使用水量 34 m³ 前年同期使用水量 32 m³

前年同期使用水量 33 m³

ご請求予定額 (内訳) 水道料金 4,389 円 下水道使用料 7,365 円

水道料金からの割引額 -44 円 下水道使用料からの割引額 -44 円

割引後のご請求額 7,277 円

「割引後のご請求額」は、右記の請求日にお引き落としさせていただきます。今回口座請求日 26 年 9 月 17 日

次回検針予定日 10 月 1 日 (天候等により変更する場合があります)

「口座振替割引」をご存知ですか？ 便利でお得な「口座振替」をぜひご利用ください。上下水道料金は、クレジットカードでもお支払いただくことができます。

水道料金等口座振替済のお知らせ (前回検針分)

26 年度 2 期ご使用分 (4 月 1 日 ~ 6 月 2 日)

振替日 7 月 17 日

水道使用水量 33 m³ 汚水排出量 33 m³

水道料金 4,580 円 下水道使用料 3,098 円

口座割引額 -44 円 口座割引額 -44 円

水道料金 (口座割引額適用後) 4,536 円 下水道使用料 (口座割引額適用後) 3,054 円

振替金額 7,590 円

検針のお問い合わせ先 検針委託 〇〇〇〇 TEL 123-4567 FAX 890-1234

検針月日 26 年 8 月 1 日 検針員 水道 太郎

うるおいのしずく、あなたへ 京都市上下水道局 http://www.city.kyoto.lg.jp/suido/

※上下水道局職員を装った訪問業者にご注意ください※

平成26年9月

～京の水をあすへつなぐ～

京都市上下水道局

安全・安心な上下水道を守るために…

上下水道局では、市民の皆さまに、安全・安心な上下水道サービスを提供しつづけるために、水道配水管の更新や雨水貯留幹線の整備など、さまざまな事業を進めています。

水道配水管の更新を スピードアップ!

水道配水管の更新については、スピードアップを図るなど、安定的な水道水の供給に向けて、計画的・効率的に進めています。また、洛西地域における水道配水管の腐食対策は、平成24～25年度の2箇年で完了しました。



水道配水管更新工事



塩小路幹線工事

浸水被害を防ぐために 雨水貯留幹線を整備!

浸水対策として、浸水被害が発生した地区や京都駅と山科駅の周辺の地下施設が集積する地区において雨水貯留幹線（塩小路幹線、山科三条雨水幹線）を整備するなど、10年に一度の大雨に対応する対策を実施するとともに河川整備等と連携した総合的な治水対策を進めています。

北部山間地域の 応急給水体制の強化!

昨年の台風18号の被害を踏まえ、京北地域を中心とした市内北部山間地域に、新たに給水車、自家発電機、緊急対応ポンプ等を配備し、26年8月の台風11号及び8月16日の大雨の際に、効果を発揮しました。



給水車（給水栓・放送設備等を搭載）

下水道PRポスターが
国土交通大臣賞＜循環のみち下水道賞＞広報部門を受賞!



「京都を守る下水道 4,155km」
(平成 24 年 9 月発行)



「京都を守る下水道 160,000 基のマンホール」
(平成 26 年 3 月発行)



「守る。Protect our Kyoto」
(平成 26 年 6 月発行)

上下水道事業の経営評価

上下水道局では、平成20年度から平成29年度までに取り組むべき課題や目標を示す「京(みやこ)の水ビジョン(2008-2017)」とその具体的な実施計画である「中期経営プラン」に基づき、様々な事業を進めています。

経営評価は、上下水道局経営戦略のPDCAサイクルの一環として、毎年度その事業を振り返り、経営指標評価と取組項目評価の2つの方法で評価し、今後の事業運営などに活用しています。

経営指標評価

財務面を中心とした客観的な業務指標を用いて、収益性や生産性など6つの区分から上下水道事業の経営状況の評価・分析を行いました。

2ページへ

取組項目評価

「中期経営プラン(2013-2017)」に掲げる5つの重点項目と重点項目を構成する取組項目について、進捗状況の点検・評価を行いました。

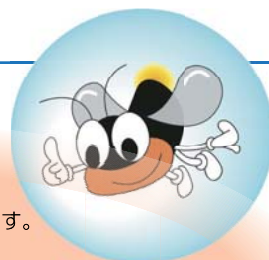
4ページへ

上下水道局経営戦略

京(みやこ)の水ビジョン (2008-2017)

基本理念

くらしのなかにはいつも水があります。
私たち京都市上下水道局は、
先人から受け継いだ、水道、下水道を守り、育むことにより、
皆さまのくらしに安らぎと潤いをお届けしたいと考えています。
そして、ひとまちくらしを支える京の水をあすへつなぎます。



「京(みやこ)の水ビジョン(2008-2017)」は事業の基本理念や、平成20年度からの10年間に取り組むべき課題や目標を示した経営戦略です。

ビジョンで掲げた基本理念の下、私たち上下水道局に課せられた社会的な役割や使命を果たしつつ、上下水道サービスの質的な向上を図っていくため、「安全・安心」、「環境・くらし」、「安定・維持向上」、「サービス」、「経営」といったキーワードを基本とする5つの施策目標を掲げ、その達成に向けて22の重点推進施策を設定しています。

中期経営 プラン (2013-2017)



「中期経営プラン(2013-2017)」は、ビジョンの後期5箇年の具体的な実施計画です。

プランは、5つの重点項目を中心に93の取組項目を推進する「事業推進計画」、業務の効率化を推進する「第5期効率化推進計画」及び「財政基盤強化計画」の3つの計画で構成されています。

平成25年度は、プランの初年度として事業を着実に推進するとともに、「上下水道料金の改定」を行い、リーフレットや市民しんぶんなどあらゆる機会を通じて市民の皆さまへの広報を実施しました。

経営指標評価

財務指標を中心とした業務指標により、6つの評価区分を用いて経営状況の改善度や中長期的な経営分析を行っています。



99未満



99以上101未満



101以上

24年度を
100として
改善度を示
しています。



25年度



24年度

水道事業

① 収益性

105.4



料金改定による水道料金収入の増加及び経営の効率化による支出削減により、19億7,100万円の黒字となりました。

⑥ 費用

101.0



1mの水道水をつくるコストは160.8円です。コスト削減に努め、1.7円改善しました。大都市※平均と比べると、7.6円(4.5%)低コストです。

⑤ 料金

91.3



1m当たりの水道水の平均価格は、159.5円です。+9.6%の料金改定により指標値が低下しましたが、大都市※平均と比べると、9.6円(5.7%)低価格です。

④ 生産性

103.2



施設規模の適正化により職員定数を削減し、経営の効率化を図りました。

② 資産・財務

110.4



山ノ内浄水場の廃止に伴う繰上償還を実施した前年度と比べて、企業債償還元金が大幅に減少したことから改善しました。

③ 施設の効率性

99.1



配水管の布設替えなどを推進した結果、有収率は87.3%となり、前年度と比べて0.6ポイント上昇しました。

公共下水道事業

① 収益性

100.0



水需要の減少や使用料改定により下水道使用料収入は減少しましたが、経営の効率化により、4年連続の黒字決算となりました。

⑥ 費用

100.4



1mの下水を処理するのにかかるコストは、105.2円で、前年度と比べて0.4円改善しました。大都市※平均と比べると、27.7円(20.8%)低コストです。

⑤ 使用料

101.7



1m当たりの下水道使用にかかる平均価格は124.2円です。△3.0%の使用料改定により指標値が改善しました。大都市※平均と比べると、16.9円(12.0%)低価格です。

④ 生産性

99.3



施設の再編成により、職員定数を削減し、経営の効率化を図りました。

② 資産・財務

103.5



企業債(借金)の残高削減を進めるなど、財務体質の強化に努めました。

③ 施設の効率性

101.1

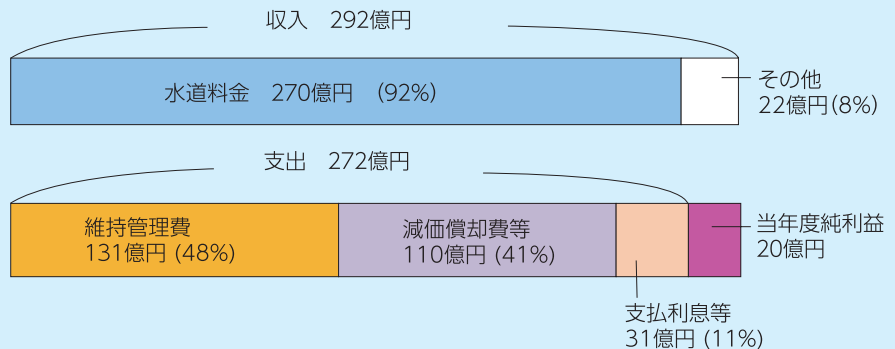


施設の再編成により、施設の稼働率が上昇しました。

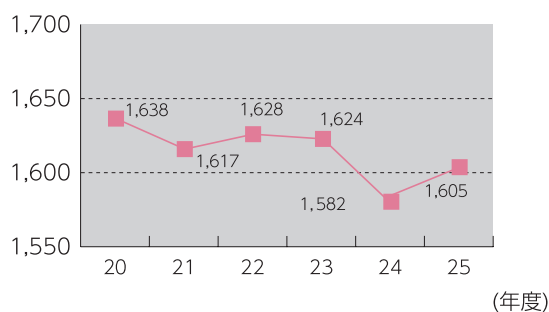
※大都市比較は、東京都及び平成25年度における政令指定都市(水道事業では県が主に運営する千葉市、相模原市を除く計19都市、下水道事業では計21都市)で比較しました。

上下水道事業の財務状況(平成25年度決算)

水道事業

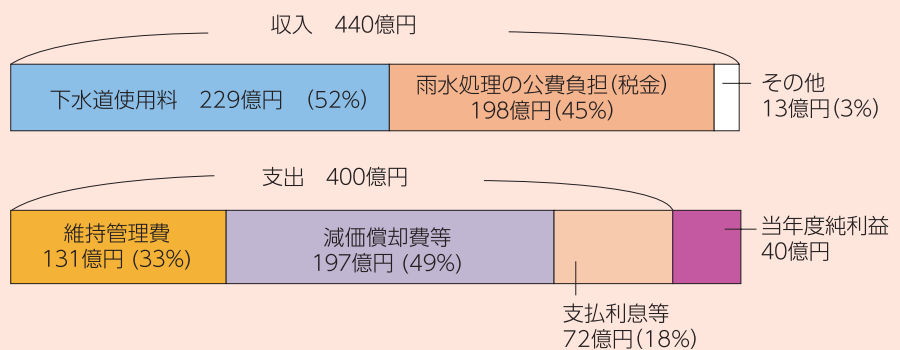


(億円) 企業債未償還残高の推移

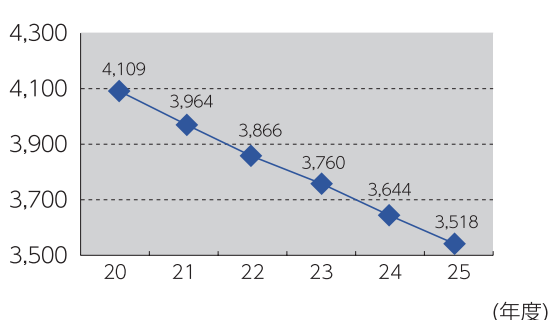


水道料金収入は、平成25年10月1日からの料金改定(+9.6パーセント)により、前年度と比べ3.7パーセント(9億6,100万円)増加するとともに、支出において各種経費の削減に努めた結果、2年ぶりの黒字決算(19億7,100万円)となり、前年度からの繰越欠損金(2億100万円)を差し引いた17億7,000万円は、建設改良費の財源として、議会の議決を経て、利益処分します。企業債の残高は、老朽化した水道管の更新のスピードアップを図るため、事業費を増加したことにより、前年度と比べ1.5パーセント増加しました。

公共下水道事業



(億円) 企業債未償還残高の推移



下水道使用料収入は有収汚水量の減少や、使用料改定(△3.0パーセント)により、前年度と比べ3.0パーセント(△7億200万円)減少しましたが、支出において各種経費の削減に努めた結果、4年連続の黒字決算(40億2,400万円)となりました。この黒字は、企業債償還の財源として、議会の議決を経て、利益処分します。企業債の残高は、投資額の抑制により発行を上回る償還を行ったため、前年度と比べ3.5パーセント減少しました。

水道事業及び公共下水道事業の財務情報、連結財務諸表等は、上下水道局ホームページに掲載しています。そちらも併せてご覧ください。

●京都市上下水道局トップページ⇒京都市上下水道局の紹介⇒経営情報⇒財務情報

取組項目評価

取組項目評価は、各取組における単年度の目標に対する達成度を5段階で評価しました。

ここでは、中期経営プランに掲げる重点項目に対する評価結果をご紹介します。

道路の下でくらしを支える管路施設の改築更新や雨に強く安心できる浸水対策の推進により、5つの重点項目のうち、3つがA評価、2つがB評価となりました。



評価方法は、

A

十分に達成
されている

B

かなり達成
されている

C

そこそこ達成
されている

D

あまり達成
されていない

E

達成されて
いない

の5段階評価

重点項目別の評価は、取組項目ごとの評価結果を集約したものです。

<参考：取組項目ごとの評価基準>

- Ⓐ 十分に達成されている(目標値の100%以上達成)
- Ⓑ かなり達成されている(目標値の80%～99%)
- Ⓒ そこそこ達成されている(目標値の50%～79%)
- Ⓓ あまり達成されていない(目標値の30%～49%)
- Ⓔ 達成されていない(目標値の29%以下)

中期経営プラン(2013-2017)に掲げる5つの重点項目

重点項目 ① 改築更新の推進

5 ページ

重点項目 ② 災害対策の強化

6 ページ

重点項目 ③ 環境対策の強化

7 ページ

重点項目 ④ お客さま満足度の向上

8 ページ

重点項目 ⑤ 経営基盤の強化

9 ページ

中期経営プランでの目標水準(平成29年度末)に対する単年度の進捗状況を澄都(すみと)くんの表情としずくで示しています。



目標以上に達成している。



順調に進捗している。



少し遅れている。

重点項目① 改築更新の推進

25年度の
単年度評価

A

配水管の更新率が目標を上回るとともに、経年管老朽化対策工事や管路地震対策工事など、計画どおり実施できたため、A評価となりました。

① 道路の下でくらしを支える管路施設の改築更新

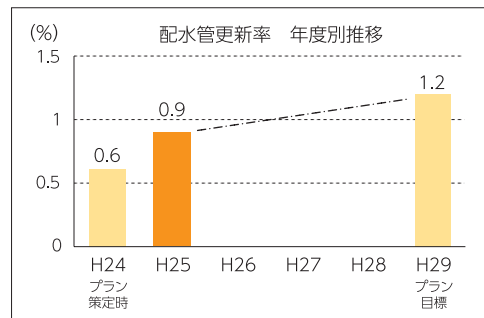
25年度の主な実績

- 水道配水管の更新の推進
 - ・配水管の更新率0.9% (目標0.8%)、配水管及び補助配水管の布設替工事の実施 **a**
- 下水道管路施設の計画的な点検・改築更新
 - ・下水道管路地震対策率64.6% (目標64.6%)、経年管老朽化対策工事の実施、管路地震対策工事の実施 など **a**

配水管更新率(%)

$$= \frac{\text{更新された配水管延長}}{\text{配水管の総延長}} \times 100$$

プランでは平成29年度までに更新率を段階的に引き上げ、1.2%にすることし、平成30年度以降には1.5%を目指すこととしています。



② 基幹施設の機能維持・向上のための改築更新

25年度の主な実績

- 浄水施設等の改築更新
 - ・蹴上浄水場第1高区配水池改良工事の実施 など **b**
- 水環境保全センター及びポンプ場の改築更新
 - ・鳥羽水環境保全センターB系最初・最終沈殿池設備工事の完了 **a**

老朽化した、鳥羽水環境保全センターB系水処理施設の改築更新を実施し、水処理機能を確保するとともに、反応タンクにおいては、高度処理対応とし、機能向上を図りました。

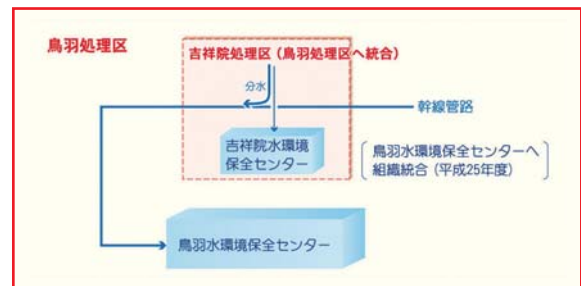


鳥羽水環境保全センターB系水処理施設の改築更新工事

③ 水需要に応じた施設規模の適正化及び施設の再編成

25年度の主な実績

- 鳥羽・吉祥院処理区の統合
 - ・処理区の統合及び支所化の実施、幹線管路の切替えに係る調査・検討の実施 **a**
- 浄水場排水の下水道での一体処理化
 - ・松ヶ崎浄水場下水放流設備改良工事の実施 など **a**



鳥羽・吉祥院処理区の統合イメージ

中期経営プラン(25～29年度)
に対する進捗状況



順調に進捗
しています。

重点項目② 災害対策の強化

25年度の
単年度評価

B

配水管更新率や雨水整備率、下水道管路地震対策率について目標を達成することができ、おおむね計画どおり実施できたため、B評価となりました。

① 地震等に強い上下水道施設の整備

25年度の主な実績

- 上下水道管路・施設の耐震化の促進
 - ・水道管路の耐震化率10.5%(目標10.6%)、配水管及び補助配水管耐震化工事の実施、蹴上浄水場第1高区配水池改良工事の実施 など **b**
 - ・御陵連絡幹線配水管布設工事の実施 **c**
 - ・下水道管路地震対策率64.6%(目標64.6%)、経年管老朽化対策工事の実施 など **a**
 - ・下水道施設継手部地震対策工事の完了、災害用マンホールトイレ工事の実施 など **a**
- 新山科浄水場第2導水トンネルの整備
 - ・新山科浄水場第2導水トンネル築造に係る予定地の設計実施 **c**

② 雨に強く安心できる浸水対策の推進

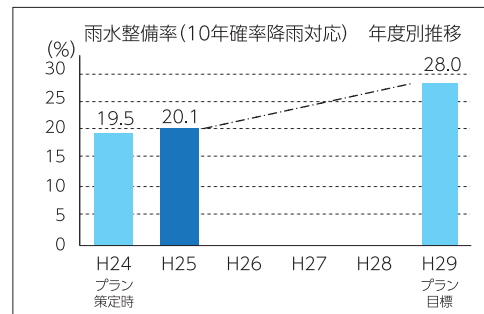
25年度の主な実績

- 地下街等を有する地区等の浸水対策
 - ・雨水整備率(10年確率降雨対応) 20.1%(目標20.1%)、京都駅・山科駅周辺地区の地下街等における浸水対策(塩小路幹線工事及び山科三条雨水幹線工事) **b**
 - ・阪急桂駅東側地域(新川流域)における浸水対策(新川6号幹線設計実施) **a**
 - ・雨に強いまちづくり推進に向けて地区別の検討会及び報告会の実施 **a**
 - ・雨水貯留施設設置助成金制度 助成件数90件(目標120件)、雨水浸透ます設置助成金制度 助成件数1件4基(目標40基) **c**

雨水整備率(10年確率降雨(1時間62mm)対応) (%)

$$= \frac{\text{浸水対策済区域面積}}{\text{公共下水道事業計画区域面積}} \times 100$$

プランでは平成29年度までに雨水整備率(10年確率降雨対応)を28.0%にすることを目標としています。



③ 災害・事故等危機時における迅速な対応

25年度の主な実績

- 危機管理対策の強化
 - ・上下水道局業務継続計画(震災対策編)の策定 など **a**
- 防災拠点の充実
 - ・応急給水資機材配付計画の策定、仮設給水栓の市立小中学校等(52箇所)への配備を完了、応急給水訓練の継続実施(京都市総合防災訓練、各区防災訓練、市立翔鸞小学校などで実施) など **a**

中期経営プラン(25～29年度)
に対する進捗状況



順調に進捗
しています。

重点項目③ 環境対策の強化

25年度の
単年度評価

A

高度処理人口普及率や合流式下水道改善率について目標を達成するとともに、太陽光発電設備の設置や資源循環の推進など、計画どおり実施できたため、A評価となりました。

① 市内河川と下流水域の水環境を守る下水の高度処理の推進

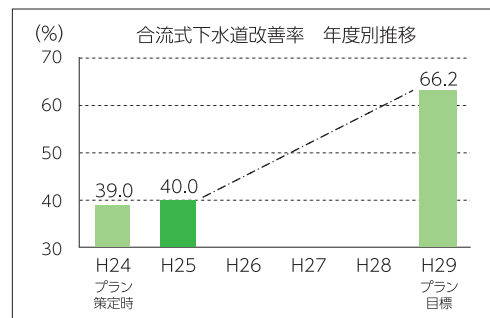
25年度の主な実績

- 下水の高度処理施設の段階的な整備
 - 高度処理人口普及率51.0%(目標51.0%),
高度処理施設の整備の実施(鳥羽水環境保全センターB系反応タンク設備工事完了) **a**
- 合流式下水道の改善
 - 合流式下水道改善率40.0%(目標40.0%), 合流式下水道改善に係る工事の実施(七条東幹線, 朱雀北幹線など) **b**
 - 砂川雨水滞水池築造工事の実施, 雨天時水質検査及び報告書を作成 **b**

合流式下水道改善率(%)

$$= \frac{\text{合流式下水道改善済面積}}{\text{合流式区域面積}} \times 100$$

プランでは平成29年度までに合流式下水道改善率を66.2%にすることを目標としています。



② 環境保全の取組の推進

25年度の主な実績

- 再生可能エネルギーの利用拡大等による温室効果ガスの削減
 - 鳥羽水環境保全センター 大規模太陽光発電設備設置工事完了・稼働開始,
新山科浄水場 大規模太陽光発電設備設置工事完了・稼働開始,
松ヶ崎浄水場 大規模太陽光発電設備設置工事实施(平成26年度完了予定) **a**
- 資源循環の推進
 - 消化ガス有効活用手法について情報収集,
鳥羽脱水ケーキ*搬出設備工事の完了,
脱水ケーキ2,686t及び焼却灰504tを
セメント原料として有効利用 **a**

再生可能エネルギーである太陽エネルギーを利用した発電設備であり、発電時に温室効果ガスを排出しないため、低炭素・循環型まちづくりに貢献しています。



鳥羽水環境保全センターの大規模太陽光発電設備

※脱水ケーキとは…下水の処理過程で発生した汚泥を脱水機で脱水した後に残る固形物のこと

中期経営プラン(25～29年度)
に対する進捗状況



順調に進捗
しています。

重点項目④ お客さま満足度の向上

25年度の
単年度評価

A

平成25年10月1日検針分より、上下水道料金の改定の実施やクレジットカード払い制度及び口座振替割引制度の導入により利用者の利便性の向上に努めるなど、計画どおり実施できたため、A評価となりました。

1 お客さま満足度の向上を目指した料金施策の推進

25年度の主な実績

- 今日の社会状況の変化に対応した料金制度・料金支払方法への見直し
 - ・上下水道料金改定の実施(平均改定率3.7%, 平成25年10月1日検針分から実施), 各戸検針時のリーフレット配布やラジオ放送など市民の皆さまへの料金改定広報の実施 など **a**
 - ・クレジットカード払い制度の導入(平成25年10月1日検針分から実施) **a**
 - ・口座振替割引制度の適用開始(平成25年10月1日検針分から実施), 開栓時「水道便利袋」お渡しサービスの実施 36,281件 など **a**

口座振替割引制度でお得に!

上下水道料金を口座振替でお支払いいただくお客さまには、口座振替割引が適用されています。2箇月で88円を割引いたします。

- ・割引額は、水道メーター検針の際にお渡しする「水道使用水量のお知らせ」でご案内しています。
- ・初回請求時に口座から引き落としができた場合に限りです。



クレジットカード払いで便利に!

上下水道料金のお支払には、クレジットカード払い(あらかじめ登録いただいたクレジットカードにご請求させていただくお支払い方法)をご利用いただけます。

- ・お申し込みをしていただく必要があります。
- ・口座振替割引制度にある「割引額」は適用されません。

ご利用可能ブランド
VISA, Master, JCB
DinersClub,
AmericanExpress

2 積極的に行動するサービスの充実

25年度の主な実績

- 上下水道局営業所の抜本的再編
 - ・営業所再編に伴う南北給水工事課(仮称)設置検討委員会の設置及び会議の実施, 料金・窓口業務の統一に向けた検討会議の実施 など **a**

3 広報・広聴の充実と積極的な情報開示による事業の透明性の確保

25年度の主な実績

- 積極的な情報発信と分かりやすい情報開示等による広報機能の充実
 - ・市バスラッピング広告の開始、「おいしい!大好き!京(みやこ)の水キャンペーン」の実施, 経営評価審議委員会の意見等を踏まえた平成25年度経営評価の作成・公表 **a**



「おいしい!大好き!京の水キャンペーン」での利き水の様子

京都市内でたくさんのさまざまな広報・広聴活動を実施しています。イベントへの参加をお待ちしています。市バスのラッピングも見てくださいね。



市バスラッピング広告

中期経営プラン(25～29年度)
に対する進捗状況



順調に進捗
しています。

重点項目⑤ 経営基盤の強化

25年度の
単年度評価

B

職員予算定数の削減や保有資産の有効活用など、経営基盤の強化に向けて、おおむね計画どおり実施できたため、B評価となりました。

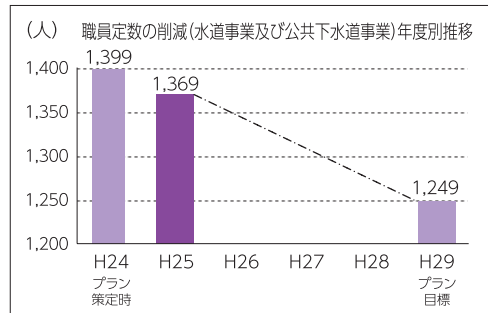
1 経営環境の変化に対応した経営の効率化

25年度の主な実績

- 事業の効率化の推進
 - ・組織改正の実施、職員予算定数の削減(△30名) **a**
- 地域事業の水道・公共下水道事業への統合
 - ・統合に向けた課題の抽出、ワーキンググループでの検討実施 など **c**

職員定数(人)

プランでは平成29年度までに上下水道に従事する職員の予算定数(地域事業を含む)を1,249名にすることを目標としています。



2 持続可能な事業運営のための財務体質の強化

25年度の主な実績

- 企業債残高の削減
 - ・機会あるごとに、国に対し補償金免除繰上償還制度の拡充を要望(日本水道協会による国への要望など)、自己資金の活用を踏まえた起債計画書を作成及び借入れ **a**
- 保有資産の有効活用
 - ・旧洛翠荘(元職員厚生施設)の売却、「水道使用水量のお知らせ」の裏面広告の実施及び「料金改定リーフレット」に広告を掲載、琵琶湖疏水クルーズ(仮称)について検討するプロジェクトチームの設置・協議 など **b**

広告掲載



料金改定リーフレット(平成25年6月～各戸検針時に配付)

上下水道局では、各戸検針時に配付される「水道使用水量のお知らせ」や「料金改定リーフレット」の裏面等を活用した広告事業を展開しています。今後も、保有資産の有効活用に向けて、新たな広告媒体についても検討していきます。



中期経営プラン(25～29年度)
に対する進捗状況



順調に進捗
しています。

上下水道事業環境会計(平成25年度)

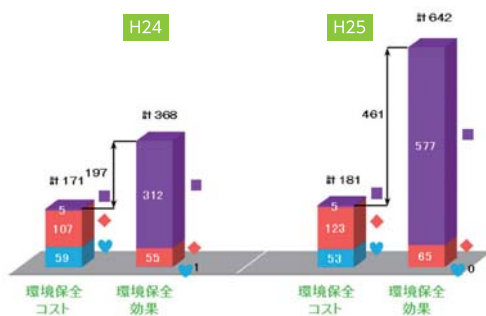
水道事業では、給水区域再編の効果による電力削減等により、環境保全コストが1.8億円、環境保全効果が6.4億円となりました。その結果、コスト対効果の収支は4.6億円の黒字となっています。

公共下水道事業では、下水処理過程における電力の削減や公害防止等により、環境保全コストは21.4億円、環境保全効果は30.7億円となりました。その結果、コスト対効果の収支は9.3億円の黒字となっています。

水道事業

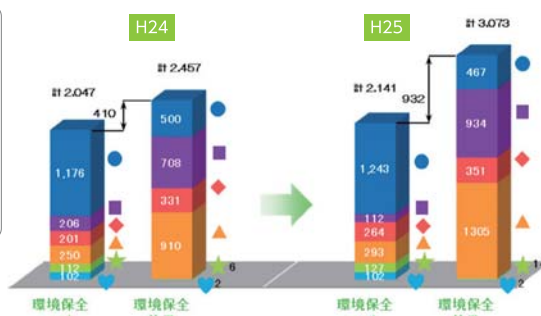
環境会計(百万円)

公共下水道事業



- 高度処理
- 電力削減など
- ▲ 環境負荷の抑制
- ◆ 資源の有効利用
- ▲ 処理過程における公害防止
- ★ 事業場排水の規制
- ♥ その他環境保全の取組

(グラフと上記取組項目の記号が対応しています。)



給水区域再編等の効果により、電力使用量を大きく削減できました。

昨年度と比べて、汚泥処理工程でのばいじん排出量を大きく削減できました。また、汚泥集約化により電力使用量が削減でき、環境保全効果が増加しました。

※環境会計とは？

環境会計は、環境保全の取組を効率的・効果的に進めるため、取組にかかったコストと得られた効果を、可能な限り金額で表し説明する仕組みです。

※環境保全コストとは？

環境保全の取組にかかる費用です。維持管理費と設置した施設の建設費(減価償却費)の合計です。

※環境保全効果とは？

環境保全の取組による経済効果です。取組を実施する場合としない想定した場合の、環境汚染物質による被害量の差を金額換算したものです。

市民の皆さまのご意見・ご提案をお聞かせください。

このたびは「京都市上下水道事業経営評価(概要版)」をご覧いただきありがとうございました。

私たち上下水道局では、皆さまからの貴重なご意見・ご感想をもとに、今後ともより分かりやすい経営評価への改善より良い事業運営につなげていきたいと考えています。

経営評価をはじめとする上下水道事業に関するご意見・ご提案は、[上下水道局ホームページ](http://www.city.kyoto.lg.jp/suido/)のご意見メールまでお寄せください。

●より詳しい経営評価結果は、[上下水道局ホームページ](http://www.city.kyoto.lg.jp/suido/)又は市情報公開コーナー等で本冊をご覧ください。

ホームページアドレス <http://www.city.kyoto.lg.jp/suido/>

上下水道事業経営評価

検索



発行 京都市上下水道局 総務部 経営企画課

〒601-8004 京都市南区東九条東山王町12番地 TEL 075-672-7709 FAX 075-682-2711